



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月20日

上場会社名 元気寿司株式会社  
 コード番号 9828 URL <https://www.genkisushi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 法師人 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小瀬 力 TEL 028-632-5711  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月29日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日

配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	43,435	3.3	1,971	14.8	2,011	12.8	292	84.6
2019年3月期	42,034	5.1	2,313	34.0	2,307	32.2	1,895	258.2

(注) 包括利益 2020年3月期 276百万円 (85.6%) 2019年3月期 1,920百万円 (283.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	33.11		3.4	9.5	4.5
2019年3月期	214.67		24.6	10.7	5.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	20,481	8,574	41.9	971.32
2019年3月期	21,942	8,563	39.0	970.03

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,574百万円 2019年3月期 8,563百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,027	1,549	2,448	3,465
2019年3月期	3,579	1,500	2,531	4,436

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		15.00		15.00	30.00	264	14.0	3.4
2020年3月期		15.00		0.00	15.00	132	45.8	1.5
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当につきましては「未定」とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点において合理的に見積もることが困難であると判断し、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表する予定です。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,882,908 株	2019年3月期	8,882,908 株
期末自己株式数	2020年3月期	55,021 株	2019年3月期	54,894 株
期中平均株式数	2020年3月期	8,827,963 株	2019年3月期	8,828,212 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	39,614	4.6	1,934	7.6	1,988	5.9	259	84.9
2019年3月期	37,859	6.3	2,093	37.9	2,112	35.7	1,711	270.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	29.36	
2019年3月期	193.91	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	19,226	7,953	41.4	900.94
2019年3月期	20,449	7,960	38.9	901.73

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,953百万円 2019年3月期 7,960百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご参照ください。

なお、2020年5月20日に予定しておりました決算説明会については、安全確保と新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から会場での開催を取りやめ、後日資料を当社公式ウェブサイトに掲載することに代えさせていただきます。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績に関する概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の堅調さを背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、相次ぐ自然災害の影響や世界的な通商問題、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、根強い消費者の節約志向・低価格志向に加え、労働力不足を背景とした人件費の増加や原材料価格の上昇、業種業態を超えた競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、「驚きと感動をお客様へ」をキーワードに、「より一層の顧客満足度向上」「進化し続ける企業」を目指し、外食の基本であるQ・S・C（クオリティ・サービス・クレディビリティ）の強化に、全社一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高434億3千5百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益19億7千1百万円（前年同期比14.8%減）、経常利益20億1千1百万円（前年同期比12.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2億9千2百万円（前年同期比84.6%減）となりました。

増収減益の主な要因といたしましては、店舗売上高が引き続き堅調に推移した一方で、人件費上昇やシステム投資等に伴う費用の増加等により、営業利益、経常利益ともに減少したことによります。さらに、店舗資産の減損損失の計上や繰延税金資産の取り崩し等により、親会社株主に帰属する当期純利益も減少しております。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (国内事業)

国内事業におきましては、店舗収益力とブランド力の向上を目指し、外食の基本であるQ・S・Cの強化に取り組むとともに、今後の店舗展開の基盤づくりとして、従業員が働きやすい環境の整備に取り組み、採用・教育の強化、有給休暇取得の推進、一部店舗の営業時間短縮等を実施いたしました。

商品につきましては、メニュー構成の見直しやお値打商品の適時投入等により、原材料価格上昇の影響を最小限に抑えつつ、商品力の強化に努めてまいりました。商品開発では本物志向で取り組み、寿司メニューの更なる充実と品質向上を図りつつ、魅力的で話題性のあるサイドメニューやデザートメニュー、催事メニュー等をタイムリーに投入し、幅広いお客様のニーズに対応してまいりました。

また、販売データの活用等がもたらす当社独自のオールオーダー型の店舗である、「回転しない寿司」の強みをより生かすことを目的に、新しい発注在庫管理システムを導入し、10月より運用を開始いたしました。これにより、更なる鮮度・品質・在庫管理水準向上や食品廃棄ロス削減だけでなく、店舗運営業務の効率化等も実現できております。

店舗展開につきましては、「回転しない寿司」型の店舗展開に注力するとともに、競争力の強化に取り組んでまいりました。

当連結会計年度におきましては、新設店10店舗を出店し、不採算店等6店舗を退店したことにより、国内の総店舗数は158店舗となり、このうち「回転しない寿司」型の店舗数は136店舗となりました。また、改装につきましては2店舗実施いたしました。

この結果、国内事業の売上高は、375億2千9百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は9億8千4百万円（前年同期比21.8%減）となりました。相次ぐ自然災害の影響で一部店舗において営業を休止したものの、各種営業政策の効果もあって、引き続き既存店売上高は前期に比べ堅調に推移いたしました。一方、生産性向上の取り組みによる一定の効果があったものの、人件費の上昇、システム投資等に伴う費用の増加等があったことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、増収減益となりました。

#### (海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、積極的に現地確認し、フランチャイズ先との情報交換等を行ってまいりました。また、国内最新店舗のシステムと技術を世界へ向けて発信するとともに、国内と同等のQ・S・Cレベル維持のための派遣指導等を積極的に行うほか、季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

子会社におきましては、新メニューの開発やテイクアウトメニューの充実により販売強化を図るとともに、Q・S・Cレベルの向上に取り組み、営業力を強化してまいりました。

店舗展開につきましては、フランチャイズ先において、香港6店舗、インドネシア8店舗、シンガポール3店舗、フィリピン2店舗、マレーシア1店舗を出店し、香港7店舗、中国5店舗、クウェート2店舗、タイ1店舗、インドネシア1店舗を退店したことにより、海外の総店舗数は198店舗となりました。国内事業と同様に、海外事業においても「回転しない寿司」型の店舗展開を進めており、全体の半数にあたる100店舗が同型の店舗となりました。

この結果、海外事業の売上高は、59億6百万円（前年同期比9.5%減）、セグメント利益は7億1千7百万円（前年同期比34.6%減）となりました。減収減益の主な要因といたしましては、フランチャイズ先の一部地域において現地情勢の変化や新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響等があったことによりロイヤリティ収入が減少し、米国子会社においても、前期に比べてやや低調に推移したことにより、セグメント売上高が減少いたしました。また、それらの影響により、セグメント利益も減少いたしました。なお、売上高は子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入（売上高の一定率等）等であります。

(2) 当期の財政状態に関する概況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億6千万円減少し、204億8千1百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少9億7千1百万円、繰延税金資産の減少4億7千8百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億7千1百万円減少し、119億6百万円となりました。

これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）の減少10億6千3百万円、買掛金の減少3億4千1百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1千1百万円増加し、85億7千4百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上2億9千2百万円があった一方で、剰余金の配当2億6千4百万円があったこと等によるものであります。

この結果、1株当たり純資産は1.29円増加し、971.32円となり、自己資本比率は2.9ポイント上昇し、41.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億7千1百万円減少し、当連結会計年度末には34億6千5百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、30億2千7百万円（前年同期は35億7千9百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益13億5千8百万円、減価償却費18億5千4百万円による増加があった一方で、法人税等の支払額5億3千4百万円による減少があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、15億4千9百万円（前年同期は15億円）となりました。これは主に、店舗の新設やシステム開発等による支出16億4千2百万円があった一方で、差入保証金の回収2億5千万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、24億4千8百万円（前年同期は25億3千1百万円）となりました。これは主に、長期借入金の約定返済10億5千1百万円、リース債務の支払11億3千1百万円を行ったこと等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

外食産業の先行きは、根強い消費者の節約志向・低価格志向に加え、労働力不足を背景とした人件費の増加や原材料価格の上昇、業種業態を超えた競争の激化等、厳しい経営環境が続くものと思われれます。更に、今般の新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済、そして人々の日常生活へ与える影響は甚大であり、国内事業・海外事業の両輪での拡大戦略を掲げている当社へも大きな影響を及ぼしております。

国内の店舗においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言や自治体からの要請等を受け、お客様や従業員とその家族の安全確保・感染拡大防止の策を講じながら、全店舗で時間短縮営業または臨時休業をしております。海外の子会社やフランチャイジーの店舗においても、各国の規制に従い、休業や時間短縮営業等の限定営業をしております。

当社グループとしては、生命線であるQ・S・Cの維持・向上、ノウハウの積み上げに取り組み続けていくことで、競争力・収益力の向上を図りつつ、感染症収束後の世界で成長を描けるよう、取り組んでまいります。

次期の業績見通しといたしましては、このような状況の中、今後の影響を現時点で予測することは困難なため、2021年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表する予定です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、今後の情勢を考慮の上適切に判断していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,436,895	3,465,271
売掛金	741,442	601,895
商品及び製品	319,611	418,249
原材料及び貯蔵品	110,773	129,233
その他	452,444	448,892
貸倒引当金	△8,134	△7,026
流動資産合計	6,053,033	5,056,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,734,754	9,167,760
機械装置及び運搬具	190,749	254,309
土地	700,569	700,569
リース資産	7,410,012	7,258,702
その他	1,535,053	1,762,838
減価償却累計額	△9,011,505	△9,884,776
有形固定資産合計	9,559,633	9,259,404
無形固定資産		
借地権	65,363	60,663
その他	219,526	387,824
無形固定資産合計	284,890	448,488
投資その他の資産		
投資有価証券	32,830	32,200
差入保証金	3,829,425	3,847,454
繰延税金資産	1,454,718	976,267
投資不動産	638,605	588,522
減価償却累計額	△283,264	△284,116
その他	373,280	557,662
貸倒引当金	△866	△791
投資その他の資産合計	6,044,730	5,717,198
固定資産合計	15,889,254	15,425,091
資産合計	21,942,287	20,481,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,700,977	1,359,114
1年内返済予定の長期借入金	1,054,719	790,929
リース債務	1,030,697	1,007,120
未払費用	1,220,455	1,182,097
未払法人税等	298,000	360,500
賞与引当金	336,000	162,000
ポイント引当金	—	32,000
転貸損失引当金	7,560	7,560
資産除去債務	525	17,310
その他	1,199,743	1,403,649
流動負債合計	6,848,677	6,322,281
固定負債		
長期借入金	1,377,360	577,683
リース債務	4,398,669	4,263,187
長期リース資産減損勘定	52,613	38,065
転貸損失引当金	29,950	22,390
資産除去債務	633,060	657,127
その他	38,481	26,140
固定負債合計	6,530,134	5,584,594
負債合計	13,378,811	11,906,876
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	6,239,839	6,267,302
自己株式	△76,404	△76,799
株主資本合計	8,659,635	8,686,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△953	△2,000
為替換算調整勘定	△95,205	△109,972
その他の包括利益累計額合計	△96,159	△111,972
純資産合計	8,563,476	8,574,730
負債純資産合計	21,942,287	20,481,606

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	42,034,655	43,435,373
売上原価	17,083,955	17,707,589
売上総利益	24,950,700	25,727,783
販売費及び一般管理費		
賃借料	2,564,707	2,665,810
給料及び手当	11,059,858	11,906,701
賞与引当金繰入額	336,000	162,000
ポイント引当金繰入額	—	32,000
その他	8,676,847	8,989,818
販売費及び一般管理費合計	22,637,414	23,756,331
営業利益	2,313,286	1,971,452
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,222	32,865
受取賃貸料	43,884	40,664
受取手数料	57,332	52,671
受取保険金	420	23,093
雑収入	16,750	14,544
営業外収益合計	148,610	163,838
営業外費用		
支払利息	100,147	86,401
賃貸費用	31,855	31,177
雑損失	22,163	6,352
営業外費用合計	154,166	123,931
経常利益	2,307,729	2,011,360
特別損失		
固定資産除却損	—	5,745
減損損失	331,511	589,498
賃貸借契約解約損	8,677	57,714
特別損失合計	340,189	652,958
税金等調整前当期純利益	1,967,540	1,358,401
法人税、住民税及び事業税	579,451	591,212
法人税等調整額	△507,073	474,886
法人税等合計	72,378	1,066,098
当期純利益	1,895,162	292,302
親会社株主に帰属する当期純利益	1,895,162	292,302

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,895,162	292,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△843	△1,046
為替換算調整勘定	26,012	△14,766
その他の包括利益合計	25,169	△15,813
包括利益	1,920,331	276,488
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,920,331	276,488

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,151,528	1,344,671	4,530,070	△75,097	6,951,172
当期変動額					
剰余金の配当			△185,392		△185,392
親会社株主に帰属する当期純利益			1,895,162		1,895,162
自己株式の取得				△1,307	△1,307
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,709,769	△1,307	1,708,462
当期末残高	1,151,528	1,344,671	6,239,839	△76,404	8,659,635

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△110	△121,218	△121,328	6,829,844
当期変動額				
剰余金の配当				△185,392
親会社株主に帰属する当期純利益				1,895,162
自己株式の取得				△1,307
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△843	26,012	25,169	25,169
当期変動額合計	△843	26,012	25,169	1,733,631
当期末残高	△953	△95,205	△96,159	8,563,476

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,151,528	1,344,671	6,239,839	△76,404	8,659,635
当期変動額					
剰余金の配当			△264,839		△264,839
親会社株主に帰属する当期純利益			292,302		292,302
自己株式の取得				△395	△395
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	27,462	△395	27,067
当期末残高	1,151,528	1,344,671	6,267,302	△76,799	8,686,703

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△953	△95,205	△96,159	8,563,476
当期変動額				
剰余金の配当				△264,839
親会社株主に帰属する当期純利益				292,302
自己株式の取得				△395
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,046	△14,766	△15,813	△15,813
当期変動額合計	△1,046	△14,766	△15,813	11,254
当期末残高	△2,000	△109,972	△111,972	8,574,730

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,967,540	1,358,401
減価償却費	1,802,517	1,854,138
減損損失	331,511	589,498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,258	△1,183
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,000	△174,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	32,000
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,360	△7,560
受取利息及び受取配当金	△30,222	△32,865
支払利息	100,147	86,401
固定資産除売却損益 (△は益)	—	5,745
賃貸借契約解約損	8,677	57,714
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,545	139,507
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,072	△117,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	55,156	△339,261
その他	303,228	194,101
小計	4,454,982	3,645,112
利息及び配当金の受取額	1,264	3,749
利息の支払額	△100,452	△86,968
法人税等の支払額	△776,263	△534,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579,530	3,027,543
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△982,504	△978,594
無形固定資産の取得による支出	△120,781	△252,695
差入保証金の差入による支出	△598,459	△411,560
差入保証金の回収による収入	272,732	250,115
その他	△71,953	△156,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,500,966	△1,549,259
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,222,275	△1,051,744
リース債務の返済による支出	△1,122,091	△1,131,371
配当金の支払額	△185,392	△264,839
その他	△1,307	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,531,066	△2,448,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,367	△1,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△438,134	△971,624
現金及び現金同等物の期首残高	4,875,030	4,436,895
現金及び現金同等物の期末残高	4,436,895	3,465,271

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、レストラン関連事業を行っており、直営、フランチャイズのサービス形態別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

したがって、当社は、管理体制別のセグメントから構成されており、「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,506,721	6,527,934	42,034,655	—	42,034,655
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	35,506,721	6,527,934	42,034,655	—	42,034,655
セグメント利益	1,258,392	1,097,296	2,355,688	△42,402	2,313,286
セグメント資産	16,005,889	2,687,059	18,692,948	3,249,338	21,942,287
その他の項目					
減価償却費	1,391,610	253,197	1,644,808	157,709	1,802,517
特別損失（減損損失）	331,511	—	331,511	—	331,511
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	2,060,039	231,034	2,291,074	211,543	2,502,617

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,402千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社及びセンターの固定資産等であります。

その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び損失、有形固定資産及び無形固定資産の取得価額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,529,232	5,906,141	43,435,373	—	43,435,373
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	37,529,232	5,906,141	43,435,373	—	43,435,373
セグメント利益	984,239	717,544	1,701,783	269,668	1,971,452
セグメント資産	15,235,500	2,127,891	17,363,391	3,118,215	20,481,606
その他の項目					
減価償却費	1,472,707	253,143	1,725,851	128,287	1,854,138
特別損失 (減損損失)	539,415	—	539,415	50,083	589,498
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,956,427	95,554	2,051,981	400,543	2,452,525

(注) 1. セグメント利益の調整額269,668千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社及びセンターの固定資産等であります。

その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び損失、有形固定資産及び無形固定資産の取得価額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	国内事業	海外事業	合計
外部顧客への売上高	35,506,721	6,527,934	42,034,655

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	合計
37,738,163	4,296,492	42,034,655

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	合計
8,314,783	1,244,850	9,559,633

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	国内事業	海外事業	合計
外部顧客への売上高	37,529,232	5,906,141	43,435,373

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	合計
39,500,381	3,934,991	43,435,373

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	合計
18,788,674	1,692,931	20,481,606

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）及び当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

「3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」に記載のとおりであります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	970円03銭	971円32銭
1株当たり当期純利益	214円67銭	33円11銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	潜在株式が存在しないため記載して おりません。	潜在株式が存在しないため記載し ておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,895,162	292,302
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	1,895,162	292,302
期中平均株式数(千株)	8,828	8,827

## (重要な後発事象)

## (多額な資金の借入)

当社は、2020年4月15日開催の取締役会の決議に基づき、長期資金の借入を実施しております。これは、新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響を鑑みて、可能な限り手元資金を確保することを目的としております。

(1)借入先	(株)足利銀行、(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、(株)栃木銀行
(2)借入金額	3,000,000千円
(3)借入金利	固定金利
(4)借入実行日	2020年4月30日より5月13日までの間
(5)返済方法	1年据置後、元金均等返済
(6)借入期間	6年間
(7)担保等の有無	無